

名勝庭園

智積院の講堂のすぐ裏側にある庭園は、その独特な美しさと四季折々の変化によって有名な庭園である。中国の中部にある廬山の周辺の地方を模した、見た目よりもコンパクトなこの庭園の中心には、様々な種類の花を咲かせる低木や花崗岩によって飾られた丘がある。丘を取り囲むようにして広がる優雅な池は、独特な緑白色を見せている。

庭を訪れた人は、16 世紀末の伝統的な様式で建設された、美しい絵が描かれた畳の部屋や茶室に取り付けられた、少し高くなった縁側から景色を眺めることができる。この場所と茶道の世界とのつながりは、茶の湯の達人であった千利休（1522～1591 年）がこの庭を特に愛好していたという逸話に代表される。